

### 第3回 一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録（要旨）

日 時：平成27年10月30日（金）午前10時～12時8分

会 場：一宮市役所 本庁舎6階 特別会議室

出席者：委員19人、事務局5人、欠席者1人

傍聴者：2人

#### 1・開会

#### 2・資料の確認

#### 3・定足数の確認と傍聴者の報告

#### 4・議事

##### ① 一宮市人口ビジョン案について

###### ▽人口ビジョン案を説明【資料1】

- ・前回の骨子案より追加した部分、特に第4章を中心に説明

###### ◎委員の意見等

- ・総合戦略にも関係するが、人口については、総合的な人口減少の抑制なのか、野心的な定住人口増加なのか、基本になる考えを聞きたい。

事務局：社会増は出る方も入る方も重要であり、戦略では新たに迎えることに力をいれながらも、今いる方には住みやすい環境を維持することも並行して進めるなど、いろいろな施策で社会増に努めます。

- ・最終の人口シミュレーション要因を教えてください。

事務局：出生率について、2030年1.8、2040年2.07、移動数を現状の2倍とするものです。

- ・生産年齢人口の推移が大きな問題と考えるが、社会増を目指すうえで全ての年代で同じように入るとは考えられず、2060年の人口ピラミッドどおりにならないと思いますが、どうでしょうか。

事務局：一定の計算方式で算定してのものであり、5年ごとの2060年までの数値はあります。年齢別人口の推移については、2015年を100として2060年までの変化を掲載しています。

- ・連区別の人口状況を掲載している意図は何でしょうか。

事務局：総人口では人口減少の実態が見えにくいので、連区ごとに濃淡があることを示させていただいたものです。

- ・丹陽町の2060年までの人口増について教えてください。

事務局：推測ですが、現状で自然増が多いことが影響していると考えます。若い世代が多いことの結果と推測します。

##### ② 一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子案）について

###### ▽総合戦略骨子案を説明【資料2】

- ・キャッチフレーズ（副題）についての論点
- ・目次により、地域特性と課題、策定の基本的な考え方、基本姿勢、政策5原則（特に結果重視のKPIとPDCAを補足）、5つの基本目標、計画期間、市推進体制、検証体制（KPIとPDCA）による見直し
- ・5つの基本目標と具体的な施策21項目、具体的な事業など

#### ◎委員の意見等

##### ▽キャッチフレーズについて（前半）

- ・いろいろ悩まれたと思いますが、細かいことはおいて、「名古屋まで」が良いかと思います。
- ・現実名古屋まで10分ですが、出て行くという文章でなく他都市から来てもらうという視点が大事なので不適當と思います。
- ・本大学のパンフレットでは「名古屋から」という表現を使っていますので、いいかと思います。
- ・具体的だと差し障りあるかもしれないので、漠然と「中部主要都市から」としたらどうかと思います。
- ・災害リスクが低いなど、安全なまちということを何か表せる言葉があるといい。安全に暮らしやすいまちということを表現できる言葉を考えられたらと思います。
- ・トカイナカという言葉に合わせて、副題の自然と利便性を入れ替えれば分かりやすいと思います。
- ・都会と田舎が一緒にあるというニュアンスから「と」がいいと思います。副題について、前半と比べ後半の子育て部分は重いので、まとめたほうが良いと思います。  
「名古屋まで」については、間違いなく「名古屋から」と思います。先日開催したイベントでも、県外から来た方はすごく近い場所と言っています。ここで提案ですが、表題はすべての個々の議論をしてから、話し合った方が良くと思いますが、どうでしょうか。
- ・ご提案のとおり、これからの議論でいただくご意見も含めて、最後に改めて検討させていただきたいと思います。

##### ▽基本目標1について

- ・企業誘致の重要性に加え、今ある企業が拡大にあたり一宮から出て行かせない留置の施策も必要と考えます。
- ・地場産業で繊維が栄えたのは豊かな水があったからで、もっと水を前面に出した方が良くと思います。ワーク・ライフ・バランスでの長時間労働削減は労使関係だけでは難しく、地方行政には仲介役として労使間のバランスをとるための相談的支援を果たしてほしい。委員だけでなく、外の関係者に意見を聞くこともいいかと思います。

- ・企業誘致と言えば大工場をイメージされるが、中小企業でも頑張っているところもあるので、それらを含めた個別策を考えた方がいいと思います。農業についても、一宮市には認定農業者が100軒以上あり、私どもは就労支援で若者・女性が農業に入ることを進めています。特産品や農業従事者や食品製造業者の6次産業化についても余地があると考えていますので、組み込んだほうが良いと思います。
- ・この総合戦略に掲載された赤字の具体的な事業で、既に動き出しているものや、議論しているもの、案の段階のものといったように、その状況を教えてください。
- ・緒に就いたばかりのものもあり、明確に区分けしづらい面もあります。掲載されたものの中では、農地転用許可の権限移譲、イルミネーション、フィルムコミッション、公衆無線LANサービス、空き家対策、世界的スポーツイベント、婚活イベント、特定不妊治療費の充実、小中学生医療費無料化、小中学校エアコン整備、防犯カメラの充実、地域公共交通の検討といったところを進めています。
- ・介護で仕事を辞めざるを得ないような人が増えていることが気になります。市では具体的な取組みはしていますか、盛り込んだほうが良いのではないですか。

事務局：具体的な取組みは現在ありません。国では、介護離職は大きな社会的損失であり「介護離職ゼロ」に積極的に取り組むとしていきます。市の総合戦略は市の計画ではありますが、全体の流れとして国のとるべき施策と相まって達成するものと考えていますので、国の施策の状況を見て判断していきたいと思います。

- ・戦略全体のことになりますが、総合戦略の各事業の担い手（ヒト）と費用（カネ）についてどのようになっていくのかということ、また総合戦略とほかの市計画や商工会議所のプランとの整合性について説明をお願いします。

事務局：具体的な実施方法を担当課で検討する中で、担い手は決めていきたいと思ひますし、費用についても実施可能な範囲で決めていきたいと思ひます。他の市計画との整合性については、総合戦略の方針が決まれば関連するものは調整していきたいと思ひます。総合計画など、これから作られる計画には反映されるものと考えます。先行する関連計画あれば修正をかけることとなります。

- ・例えば東京で開催された尾州生地の展示会での個々企業の関わり方からも分かるように、戦略が行政内部だけのプランに留まらず、企業をはじめとした大きな連携を図る必要性があると思ひます。
- ・商工会議所では、策定中の第2期アクションプランの計画期間がほぼ重なりますので、戦略を意識しながら事業ごとに必要に応じ擦り合わせしたいと考えています。

#### ▽基本目標2について

- ・シテプロモーションの展開という表現がありますが、シテプロモーションは各々の事業の横軸、ベースとなるものです。創生事業のホームページで今やっていることをダイレクトに伝え双方向に若い世代の情報も入るような、言わばスペシャルサイトのようなものを作り、子育て支援等に取り組んでいることを明確に訴える、シテプロモーション全体の取り組みが必要と考えます。シテプロモーションは、一項目ではなく非常に大きなテーマと捉えてほしいと思います。

#### ▽基本目標3について

- ・定住対策は大事であり、若い世代の定住のためには賃貸住宅が必要と思いますが、賃貸住宅に関する施策の可能性はあるのでしょうか。  
事務局：人口は減っていきますので、新たに造るというより空き家対策の一つとして、空き家を賃貸化するという視点もあり、今後議論が必要と考えます。
- ・市街化調整区域内の地区計画による良質な住宅地の提供というのは、調整区域内の田んぼ・畑の新たな開発というイメージですか。  
事務局：市街化調整区域内の新たな開発というものではなく、調整区域内にもある市街化した部分の利便性に着目し、そこを中心に周辺を含めた地区計画を作り、調整区域であっても家が建てられるようにするものです。
- ・スポーツイベントの招致の点で、ラグビー場や総合体育館は遠くて交通が不便なので、先行して交通手段の整備を考えてほしいです。また、イベントの際には食べ物屋が必要なので、屋台などが出店して1日過ごせるような環境となるよう、民間企業等にも協力してもらいながら進めてもらいたいと思います。競輪場については、オリンピックの強化施設として使ってもらったらどうかと思います。
- ・競輪場については、レースは行わずに場外車券売場として使用しており、なくなった後の活用については決まっていないので、今後皆さんの知恵をお借りしながら決めていきます。そのために土壌調査をしているところです。
- ・今年1月から小中学校の卓球全国大会（後藤杯卓球選手権大会）が一宮市で開催されています。親子合わせて6千人規模のイベントですが、前の開催地の岡崎市と違い、家族が楽しめるような対応がされませんでした。この例のように、いいものがあるのに活かさない状況が、この地域を魅力ないまちにしている。こうしたことが、どうして起きているのかを考えることがまず根本に必要とお伝えします。  
自然と親しむ木曾川沿川の整備では、木曾川は一宮市のものだけではなく、周りの市町にもいいものがありますので、手を繋いで広域で連携して何か事

業をやっていくことが必要と思います。

中心市街地の高度利用によるにぎわいと調整区域内の住宅地提供については、繋がっているものと考えていいですか。

事務局：高度利用については市街化区域である駅周辺の市街地のことであり、調整区域内の住宅地については、駅から延びる交通網の先にある調整区域内の市街地というイメージです。

#### ▽基本目標4について

- ・若い方には所帯をもつ時と子育て後に定住する時の2回ほど市外に出る機会があります。ある調査では、東京などの都会では出会いが多く結婚件数も多いのですが、カップル後に住宅が高いので首都圏外に出ます。一宮市で考えると、マッチングと定住両方できる状況にあると思いますので、空き家政策の一つとして、若い方が定住しやすくなる住環境の整備をご検討ください。
- ・周りに流産する人が多いので、不妊治療も含め、流産した人への支援を考えてもらいたい。

#### ▽基本目標5について

- ・交通安全のことがないので、交通事故死亡者が多いことから、あれば増やせないかなと思います。
- ・災害と交通安全についての記述がちょっと足りないので、もう少し加えたらどうかと思いました。
- ・SNSの活用において、携帯・タブレット・パソコンが使えない高齢者対策について言及されていないことに不安を感じます。

#### ▽キャッチフレーズについて（後半）

- ・「あらゆる行動拠点から」という大まかな表現でどうかと思います。
- ・定住策の話が出ているなら「から」と「まで」は入れ替わるかもしれないが、余り意識しなくてもいいのではないかと思います。「名古屋まで10分」というのは、よく使う分かりやすい表現と思います。トカイナカについても、説明を付けずに「何だ？」と思わせるのがキャッチフレーズには丁度いいです。
- ・トカイナカの説明部分を取れば短くコンパクトになります。例えば『トカイナカ…子育てにやさしく安心なまち』または『「トカイナカ」子育てにやさしく安心なまち』とかにして、そこに「名古屋から10分」を加えればどうかと思います。

## 5・その他

次回会議について、11月26日（木）を確認。会議資料について、事前送付によ

り目通しを依頼。今後の予定について説明後、閉会。